

http://www

VBTJ ベトナム語の聖書を日本へ
(Vietnamese Bible To Japan)

ニュースレター

2022年11月発行
第9号(特別号)

VBTJ(Vietnamese Bible To Japan) <http://vbtj.org/> toyoshi@io.ocn.ne.jp(長谷川)
<事務局> 〒359-1105 埼玉県所沢市青葉台 1337-1-508 長谷川方 04-2939-8470(TEL&FAX、長谷川)

「在日ベトナム人伝道によって 得られる祝福」

VBTJ 代表
大塩 英人

内容

- 1 「在日ベトナム人伝道によって
得られる祝福」
VBTJ 代表 大塩英人
- 2 力を合わせて、事例を聞いて
集め、別のケースへ適用を！
- 3 「全世界に広がる主のぶどう園」
～私たちの町でも
日本同盟基督教団 高山祝福教会
牧師 奥深山 井作
- 4 教会にベトナム人が来るために
は？来た場合は？連絡先
- 5 私たちは協力教会を募集してい
ます。VBTJ はこういう活動を
してきました。こういう活動もし
ていきたいです。

私たち VBTJ の在日ベトナム人への伝道の働きの源流は 2018 年前半にベトナム側から起こされたものですが、日本で呼応してくださった方々と共に、2021 年 6 月から正式に宣教団体としての活動が始まりました。主な参集者は、日本福音同盟で異文化宣教に関わってきた方、三浦綾子読書会の方、日本の諸教会の牧師・教会役員・信徒のほか、ベトナム側からも元地下教会に連なる私が参加しています。そのように私たちは国境・教団教派・バックグラウンドの違いを越えて結びついた超教派の団体です。



今回私たちの存在と活動を知っていただきたく、いつもは VBTJ 協力教会宛に発行しているニュースレターの“特別号”として、はこぶね便”を活用して、全国 8000 教会へ送付させていただきました。

2022 年 6 月末で日本には約 296 万人の外国人が住んでいます、それは日本の住民の 2%強が外国籍の方々であることを意味します。一番多いのは中国籍、2 番目にベトナム籍、そして韓国籍が続きます。ベトナム人は 47 万人います。既に住民 270 人に 1 人はベトナム人なのです。多くの方は彼ら彼女らをコンビニのレジなどで見かけているでしょうが、実際に話したことのある方は少ないはずです。

私たちの祖国は大陸の東端にありキリスト教の伝播も遅く、さらに島国です。歴史的・地理的な要因もあって、内向的な性格、外国語が苦手、かつ、経済が強かったがゆえに国内経済・文化圏に安住してしまう傾向がありました。しかし少子高齢化が進んで、これからの私たちは、外国籍の方々との関わり無くして地域社会を維持できないのです。今、私たちは分水嶺に立っています。

主にあつて、私たちは過去 4 年半の活動で、東京、大阪、名古屋の 3 か所で在日ベトナム人教会(集会)の設立に関わる事ができました。また、日本の教会の日本人牧師によっても、在日ベトナム人を信仰に導き、洗礼が行われた姿を何回も目撃してきました。更に、それら教会の良き交わりから、今も日本国内で新たなベトナム人教会が生まれようとし、今も新たな在日ベトナム人の信徒が生まれ続けています。しかしその一方で、地方の疲弊は“待ったなし”。

解決は身近にあります。最初は“たった 1 人の来訪者”からはじまるのです。私たちは諸教会にベトナム語聖書とベトナム語訳された三浦綾子さんの書籍を無償で送付し、協力教会になっていただき、大切な最初のベトナム人新会来者への備えを提供し、その 1 人を皆様の教会に根づかせたいと思っています。

申命記 10:19 (新共同訳)

あなたたちは寄留者を
愛しなさい。あなたたちも
エジプトの国で寄留者で
あった。

力を合わせて、事例を聞いて集め、別のケースへ適用を！

でも、日本語と大きく異なるベトナム語の壁は、どう乗り越えるのでしょうか？

私たちが見てきた在日ベトナム人の若者たちは、コミュニケーションのほとんど取れない人たちもいれば、取れている人たちもいました。また、日本人のように仕事をしていて全然貧しくないベトナム人もいました。忙しくて疲れている中でも毎週教会にやって来る人たちもいました。そもそも伝道の対象として認識してこなかったで、私たちは対象の姿が正しく見えていませんでした。

試行錯誤しながら関わってきた結果、分かってきたことがあります：

- (A) およそ日本語能力 N3 に満たずコミュニケーションがほとんど取れない場合においても、東京、大阪、名古屋にベトナム人教会(集会)があります。彼ら彼女ら信徒たち自身の手によって、個人の信仰の強度に応じたサポートができます。それだけ在日ベトナム人の各教会は充実してきました。
- (B) 技能実習生も3年目に入ったあたりからは、だいたいコミュニケーションが取れます。日本の教会も、愛ある交わりを通して自力で信仰告白そして洗礼へと導くことができます。また強い信仰を得た信徒の場合はその地域の情報のハブになり、みずから友だちを教会に連れてくることもあります。

今、私たちは、どのようなコミュニケーションの手法があるのか、どのようにきっかけを作ることができるのか、事例を集めています。それは、ある教会で出来なかったことでも別の教会では出来るかもしれないからです。

ある地方の中核都市で元国語の先生(信徒)がベトナム人技能実習生の寮に関わることができた事例がありました。その方はまず学級新聞のような“お便り”を配布しました。フリ仮名をつけベトナム語もふんだんに盛り込んでいます。応答を義務付けないこのお便り方式は相手に圧力を掛けない優れたアプローチの方法で、そこから始めて彼は今、ベトナム人たちからとても愛されています。

一方そこから離れた小都市に、ある会社の社長(信徒)がいました。社員であるベトナム技能実習生を信仰告白に導きましたが、仕事と信仰の両面からなので彼女たちと近すぎて、一定の距離を置かなければならないケースが起こってしまいました。結果は分かりませんが、私たちは軽めでも心のもったコミュニケーション手段である、この“お便り方式”はどうかと提案できました。

また、皆様が在日ベトナム人の若者たちと出会うきっかけを作るため、仲間の協力の下、私たちのホームページからダウンロードできるベトナム語版のトラクトを作成しました。内容はイエス・キリストの愛に満ちた“お便り”です。さらにホームページには、主の祈り、使徒信条のベトナム語版も掲載しています。



パウロは；

“あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエス御自身が『受けるよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました。”(使徒 20:35 新共同訳)と語っています。

在日ベトナム人の若者は日本中に居ますが、VBTJはまだとても小さい状態にあります。一つでも多くの教会、一人でも多くの信徒が“網”となってくださり、私たちを支えてくださり、在日ベトナム人の若者との交わりを通して、日本にお住いの“皆様が”、そして“皆様の次世代が”大いなる祝福に満たされますようにと私たちは祈っています。

「全世界に広がる主のぶどう園」 ～私たちの町でも～

日本同盟基督教団 高山祝福教会 牧師 奥深山 井作

私たちの教会は岐阜県の山間、人口8万人の町、「飛騨高山」にあります。小京都の一つとしてもよく知られている観光地です。若者の多くは高校卒業とともに進学や就職のために故郷を離れて上京し、その後、都会で生活の拠点を築くことも多く全国的に見ても高齢化が著しく進んでいる地域と言えます。

教会も高齢化が進み、夏休みや年末年始の休暇で里帰りをする青年やファミリーが礼拝に合流する時季は少しばかり賑わいますが、長引くコロナ禍にあって、それも久しく思えるこの頃です。

そのような一地方教会ですが、これまでと少し違った新しい風が感じられています。約二年前からベトナム人技能実習生の3名が礼拝に集うようになり、時にはベトナム語や覚えたての日本語で賛美を歌って共に楽しく礼拝をささげています。特に感謝だったのは、その中の一人の青年が信仰の決心に導かれ、昨年のクリスマス礼拝にて洗礼を受けたことです。また更に、今年の4月以降、彼らの人脈で新たに3名が来日し、現在は6名のベトナムの青年が礼拝に出席しています。少しでも言葉の違いを越えた一体感のある礼拝を！と願い、説教原稿をベトナム語に翻訳したペーパーを配っていますが、私自身はベトナム語が全くできないため翻訳サイトの機能に頼りっぱなしです。きっと誤訳もあるかと思いますが、それでも「大丈夫！大丈夫！」と目を輝かせながら笑顔でみことばの恵みを共有してくださる彼らに牧師はじめ教会全体が励まされています。



これに加えて(こちらも今年4月以降です)小・中学校で英会話を教えるALT講師の3名(南アフリカ・シンガポール・アメリカから来日した方々)も礼拝に集うようになり、月に一回から二回、インターナショナル・フェロシップとして交代も行っています。礼拝のパワーポイントの画面に日本語、ベトナム語、英語の三か国語が映し出せるよう準備して下さる奉仕者も与えられて、小さいながらも多国籍の礼拝がささげられています。

実りの秋、教会の敷地にあるぶどうが食べ頃を迎え、主イエス様が語られた「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫です。」とのおことばを思い巡らしています。先日の礼拝後、青年たちと収穫をしました。喜びながらテイクアウトする一人ひとりの姿から、主のぶどう園の世界的広がりを、地方の小さな教会でも見させていただける喜びを感じています。これからも主が送ってくださる大切な一人ひとりを感謝し、共に歩んでまいりたいと思っています。



ヨハネ 15:1 (新共同訳)

わたしはまことのぶどうの木、
わたしの父は農夫である。



教会にベトナム人が来るためには？ もし来た場合は？ 連絡先

- (1) VBTJ ホームページ : www.vbtj.org
- (2) VBTJ の活動に関心がある教会/信徒、また協力教会になるには以下のメールアドレスへご連絡ください；
- (A) VBTJ 代表 Email アドレス : vbtj2021@gmail.com
- (B) 代表大塩の Email アドレス : oshio@ktaccounting.com.vn
- (3) ベトナム語で対応するしかない場合、教会にやって来たベトナム人に知らせる連絡先は以下の通り；
- (A) 東京および東日本: Ms.Na (ナーさん) : quyna1294@gmail.com
- (B) 大阪および西日本: Mr.Tung (ゴットンさん) : nhumotphepmau@gmail.com
- (4) 献金等ファンド面でご支援いただける場合の連絡先は以下の通り；
- (A) 三浦綾子読書会顧問で当会共同代表長谷川の Email アドレス : toyoshi@io.ocn.ne.jp
- (B) 事務局大庭の Email アドレス : hironne.grandjardin@gmail.com

私たちは協力教会を募集しています。 VBTJ はこういう活動をしてきました。こういう活動もしていきたいです。

いままでの活動、そして、これからも続く活動：

- (A) ベトナムの元地下教会から聖書の寄贈を受けました。その後、ギデオン協会から頒布用ベトナム語聖書を調達。
- (B) ベトナム語へ翻訳された三浦綾子さんの“光あるうちに”と“旧約聖書入門”を頒布用に印刷。
- (C) 全国 145 教会と繋がり、年 3 回ニュースレターを発行。日本の教会また在日ベトナム教会(集会)の活動を広報。
- (D) 教会と在日ベトナム人、また教会と諸団体、また教会と教会を繋ぐ活動を行ってきました。最近も、北九州市で、ベトナム人が数多く通っているミッションスクール(短大)にベトナム語聖書 16 冊を手渡すことができました。教会ばかりでなく学校などを通して、在日ベトナム人にコンタクトするルートを開拓していています。

追加的に行いたい活動：

- (A) まず、在日ベトナム人信徒 1 名を日本の神学校に送りたい。(長期戦への備えとして。)
- (B) “古民家で星空を見る会”等の在日ベトナム人が参加しそうなイベントを企画・実行できる教会をサポートしたい。それができれば、別の地域でも、“紅葉を見ながら BBQ”や“新年の餅つき”だってできるはずだからです。在日ベトナム人伝道について私たちと一緒に考え、祈り、そして、更なる活動を起こしていきませんか？

協力教会になってくださる教会にはベトナム語聖書と三浦綾子さんのベトナム語版書籍 2 冊を 3 セットずつ無償で送付しています。教会に備えつけて、ベトナム人が来た時に用いるのです。言葉の不自由な彼ら彼女らにとって日本の教会の敷居は高いのです。勇気を出してやってきた若者に、どうぞ、彼ら彼女らの立場に立って、関わってくださると嬉しいです。



全員、20代。日本語コミュニケーションはほぼ大丈夫。ある者はまるで日本人みたいです。

一方 VBTJ は正会員となって活動を支えてくださる個人・教会・団体を常に募集しています。年会費は、1 口 5000 円です。以下の VBTJ 銀行口座へ、会費 or 支援献金を送金いただけるようでしたら、とても感謝です。(お祈りください。)

口座名	VBTJ
ゆうちょ銀行	記号 10300 番号 94675701
他銀行からの場合	店名 ○三八(ゼロサンハチ)
	店番 038 普通 9467570



2022年度合同キャンプ @名古屋：大きくなった在日ベトナム人教会(集会)

わたしは荒野に道を敷き、砂漠に大河を流れさせる。
イザヤ 43:19 b (新共同訳)